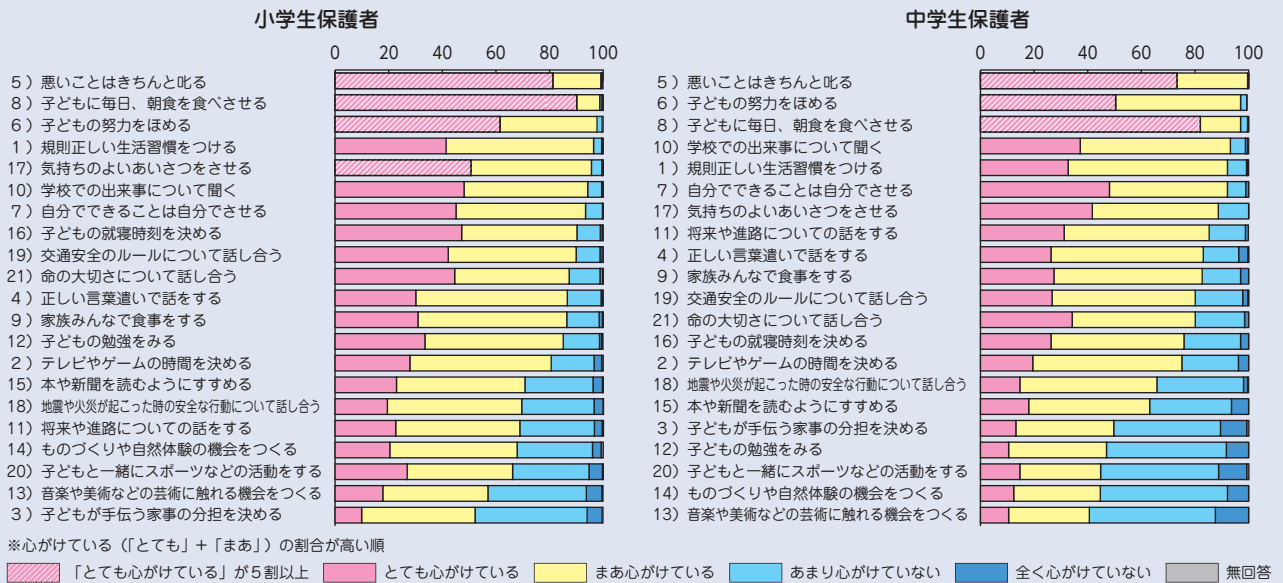


調査から見える 浦安っ子

令和元年度に実施した「小中学校保護者及び教員の教育に関する意識調査」では、家庭における子どもとの関わりなどについて、小・中学校の保護者約1200人にアンケートを行いました。

令和2年9月に策定した「浦安市子ども読書活動推進計画（第三次）」からは、子どもたちの読書活動の状況を垣間見ることができます。

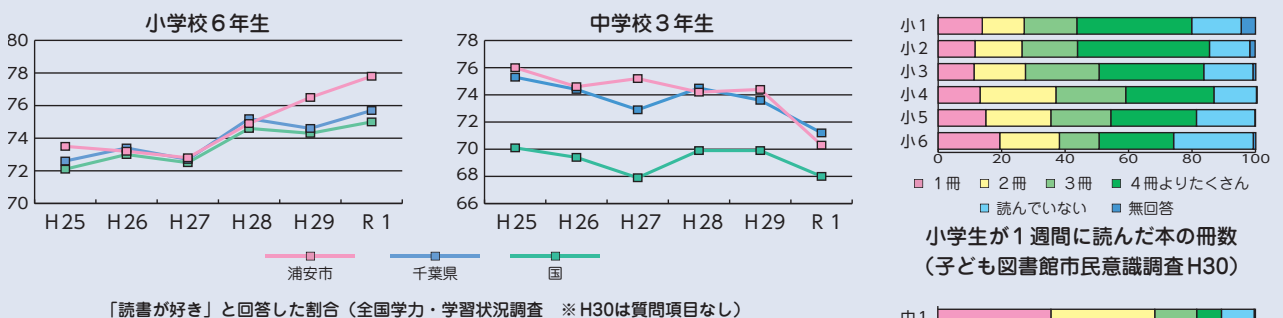
お子さんとの関わりについておたずねします。あなたのご家庭ではお子さんに対して、次のようなことをどれくらい心がけていますか。一番近いものに○をつけてください。



子どもに対して「悪いことはきちんと叱る」「子どもに毎日、朝食を食べさせる」「子どもの努力をほめる」ことを多くの保護者が心掛けていることがわかります。

小学生には「就寝時刻を決める」「交通安全のルール、命の大切さについて話し合う」、中学生には「将来や進路についての話をする」「正しい言葉遣いで話をする」など、発達段階に応じた言葉かけを行っていることがわかります。

「読書が好き」と回答した割合と、小学生が1週間、中・高生が1カ月に読んだ本の冊数



「読書が好き」と答えた小・中学生の割合はどちらも70%以上であり、小学6年生では国や県よりも高い割合です。

小学生では1週間、中学生は1カ月間に本を1冊以上読んだ人の割合は70%を超えていますが、高校生になると本を「読んでいない」割合が高くなります。

中学・高校生が1カ月に読んだ本の冊数（子ども図書館市民意識調査H30）